

開教

Kaikyo

HONEN BUDDHISM

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

Volume
36
HONEN BUDDHISM
2018

浄土宗開教振興協会
会報〔開教〕

ハワイ
開教区

ハワイ開教区 第22代開教総監
樫柴裕文師遷化

ハレイワ浄土院
サンデースクール活動報告

北米
開教区

北米開教区の
教化活動と現況

南米
開教区

南米開教区65周年記念
五重相伝会

オーストラリア
開教地

阿弥陀寺における寺子屋

フランス
開教地

僧侶目指し
ドイツ人メンバーが
得度式

国内
開教

第9回 開教公開カンファレンス
海外開教区存亡の危機
～「葬儀教化」からの脱却を目指す～

平成29年度
国内開教使研修会報告



浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

2 ご挨拶

浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長 豊岡 鏡尔

海外開教

3 ハワイ開教区第22代開教総監 檜柴裕文師遷化

ハワイ開教区 ハレイワ浄土院主任開教使 江崎晃司

4 ハレイワ浄土院 サンデースクール活動報告

5 北米開教区の教化活動と現況

北米開教区開教総監 後根 定鑑
本院主任開教使 田中 孝道

7 南米開教区65周年記念 五重相伝会

南米開教区開教総監 佐々木 良法

9 阿弥陀寺における寺子屋

オーストラリア開教地主事 ウィルソン 哲雄

11 僧侶目指しドイツ人メンバーが得度式

フランス開教地主事 高僧 光隆

主催事業

12 第9回 開教公開カンファレンス

海外開教区存亡の危機 ～「葬儀教化」からの脱却を目指す～
浄土宗教化研修会館（源光院）

国内開教

13 平成29年度 国内開教使研修会報告

15 各開教区開教使名簿

16 浄土宗開教振興協会 平成29年度 会員名簿

■ 浄土宗開教振興協会 役員名簿
■ 浄土宗開教振興協会 事業報告

23 浄土宗開教振興協会 平成29年度 決算書

25 平成29年度 教区別正会員比率

26 海外・国内開教使募集 編集後記



ご挨拶



浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長

豊岡 遼尔

以前にもお伝えいたしました。浄土宗の海外開教区、開教地の中で最も長い歴史のあるのがハワイ開教区で、本年、125周年を迎えることとなりました。

現地では早い段階で記念事業等を企画されていた様子ですが、まとまってきたようです。

悲しいことに昨年ハワイ開教区開教総監をお務めいただいた檀柴裕文師が突然往生を遂げられました。思いもよらなかったことでありましたが、残された開教使の皆さん達はその志を受け継ぎ、記念事業をかたち作られたようです。ゆかりの皆さまのご努力に感謝するとともに、国内の諸上人、関係者各位のご協力を心からお願い申し上げます。

浄土宗のハワイ開教区開教総監代行をお勤めいただいている江崎晃司師を中心に様々な企画を予定されている模様です。

メインイベントになるのでどうか、「浄土宗ハワイ開教125周年記念慶讃法要」が予定され、法要の後に日本からの参加者との懇親の昼食会などがあるようです。1894年にスタートしたハワイ開教であります。その間、今日までには第二次世界大戦という不幸な出来事もありました。苦難を乗り越え、開教を続けてこられた

先達に報恩感謝し、今後さらなる発展を成し遂げる決意の法要となるでしょう。

多くの日本人移民が居住するハワイで、いち早く浄土宗の教えを説く必要性を感じて渡航された当時の開教使のご苦労はさぞやと慮るところです。

日程は違いますが、日本の伝統文化である歌舞伎公演も予定されているようです。私どものイベントではありませんが、優れた日本の文化を多くのハワイの人々にお伝えしようというものです。文化交流こそが「世界にともしきを」の浄土宗を後押しするものです。

日本においても、浄土宗総大本山・寺院が所有する寺宝の公開を、浄土宗開宗850年慶讃の企画として検討しております。開宗850年の勝縁に、ハワイ各寺院の檀信徒の皆さんに訪日していただくようなことができないか、といったことも考えております。文化交流こそがお互いに理解し合う最良のことと思っております。

ハワイに限らず、浄土宗の全開教区寺院ともども、法然上人の心を心として、一緒に歩んでまいりたいものであります。

ハワイ開教125周年、まことにおめでとうござります。

ハワイ開教区第22代開教総監 檜柴裕文師遷化

ハワイ開教区ハレイワ浄土院主任開教使 江崎 晃司



「晴天の霹靂」とは将にこの

ことを示すのであろう。2018年7月20日、ハワイ開教区第22代、檜柴裕文開教総監が心臓発作により帰らぬ人となったニュースが、ハワイ開教区檀信徒のみならず日本の浄土宗寺院にも衝撃を与えた。1957年生まれの師は60歳の還暦を迎えたばかり。2017年9月のハワイ開教区教区会議で総監に選出され、檜柴新総監体制の元、新しい開教スタイルを樹立しようとした矢先のできごとであった。

檜柴総監はハワイ浄土宗別院で開催された3日間、計7座のお盆法要の1日目に導師をされ、2日目の朝に体調不良を起こされました。1日目のお盆法要3座(午前十時、午後二時、午後七時)をこなし「じゃ、また明日」と開教使住宅に戻られたのが、檜柴総監と交わした最後の言葉になるとは誰もが想像しなかった。体調不良を訴えられてわずか7日後、病院に駆け付けた江崎晃司開教使(ハレイワ浄土院主任)の唱えるお念仏の最中、ゆかり夫人と愛娘ソフィーちゃんに見守られ静かに息を引き取られました。

檜柴裕文総監は関西外国語大学を卒業したのち、浄土宗僧侶と出会い、僧侶となることを決意。少僧都養成講座(当時)を受講、1984年に伝宗伝戒道場を満行、1985年に開教使としてハワイ開教区に赴任した。2年半、ハワイ浄土宗別院の駐在開教使として従事したのち、1987年コア浄土院の主任開教使としてカウアイ島に異動。以後、約10年間、コア浄土院の主任開教使として、日本語教室や日曜学校を通して、得意の英語を駆使し、若い世代や非日系人信者獲得を目指す布教に力を注いだ。特に、各島の子供たちを一同に集めて毎年開催していたユース・リトリート(子供念仏会)は、開教使の中でも率先して子供たちの指導に当たっていた。

1997年にハワイ浄土宗別院の主任開教使として再びオアフ島に戻った師は、1999年に第18代開教総監に就任。時代が日系3世、4世の時代に突入していた当時、師は「日本語を話せない新しい世代の人たちを集めた、新しいスタイルの浄土宗を作りたい」と願い、布教活動に専念した。体調不良により2003年に総監職をいったん辞任したあと、引き続きハワイ浄土宗別院の主管として中村良観、原源照両総監のサポートに尽力を尽くした。2017年9月のハワイ開教区教区会議で再び開教総監に選出され、浄土門主伊藤藤下より総本山知恩院にて総監認証書を拝受。第二次檜柴時代を迎え、冊子『開教』第35号ではハワイの将来について展望を語っておられ、師の手腕を期待した航海が始まった直後、師の突然の遷化に直面したハワイ開教区は、信じられない思い、やるせない思いに包まれた。

師の本葬儀は2018年9月2日、江崎開教使を導師、原源照開教使(ラハイナ浄土院主任)とワジラ・ワンサ開教使

(ハマクア浄土院主任)の両師が協導師を勤め、ハワイ浄土宗別院で厳修された。浄土宗社会国際局からは杉山俊明局長、橋柴師と交友のあった東京妙定院小林正道上人などが日本から列席、アメリカ本土より後根定璽北米開教区開教総監、南米より佐々木良法南米開教区総監も列席され、小雨が降るにも関わらず、400人を超す会葬者が参列した大きな本葬儀となった。戒名は「栞蓮社明譽上人空阿心海裕文和尚」。ハワイの青い海と空を愛した師にふさわしい戒名と言えよう。

なお、橋柴裕文開教総監が遷化の後、江崎晃司開教使が総監代行職として、前任の意を受け継ぎ、ハワイ開教区繁栄に力を注ぐ。

ハレイワ浄土院 サンデースクール活動報告



オアフ島ノース・シヨアにあるハレイワ浄土院(江崎晃司主任開教使)が主催するサンデー・スクールが異彩を放っている。活動費の全てをガレージ・セールの売り上げ金でまかなう自給自足の活動。自分たちで活動する資金は自分たちで稼ぐことを子供たちに知ってもらいたい、というのが江崎開教使の思い。

ガレージ・セールというのは、お檀家さんの家庭から不要になった雑貨、日曜品、衣類、書籍、家具、家電など、様々な品を寄付していただきお寺の境内で販売するバザーのこと。毎月、お寺の寺報で寄付品を呼びかけると「押し入れを掃除したら要らないものがたくさん出てきました」「亡くなった母の家を売りに出すために、食器類をすべて寄付したい」と、次から次へと寄付品がお寺に持ち込まれる。全ての寄付品が売り物になるとは限らない、粗大ゴミのような寄付品の中には多数存在する。江崎開教使は「ある人にとってはゴミかもしれないが、ある人の手に渡ればそれは宝にも変わる」と、目を輝かせながら「ゴミ」と売り物の仕分けをする。

ガレージ・セールの売り上げ金から、サンデー・スクールの主なる活動費である

法要後のアクティビティーの経費、軽食やおやつ、さらには備品などを購入する。近年では餅つきをするために杵を購入。さらには子供たちを連れて、テレビ局、航空博物館などの社会見学にも出かける。ハンディ・キャップを背負った子供たちがスポーツを通して、一般の子供たちと触れ合う「スベシヤル・オリンピック」にも寄付を行った。

月に一度のサンデー・スクールでは本堂でのお勤めの後アクティビティーとして、書初め、うどん作り、流しそうめん、ひな祭り、交通安全勉強会、お泊り会などを開催し、日本人の親を持つハワイ生まれの子供たちと、日本文化を中心とした経験を楽しんでいる。ハレイワ浄土院の活動を支持してくださる方が増え、一層の寄付が集まれば、将来的に子供たちを連れて本山への修学旅行も視野に入れた大きな目標を掲げる。



北米開教区の教化活動と現況

北米開教区開教総監 後根 定壘
本院主任開教使 田中 孝道



2007年 浄土宗北米開教70周年記念法要

浄土宗開教使の本義は「阿彌陀仏の本願を信じ、一人でも多くの方々にお念仏を称えていただく努力をする」ことにあります。檀家制度や伝統のない海外の地、さらには異なる宗教・言語を有する文化圏での開教は困難を伴います。皆様ご承知の通り、北米開教区では2003年から2008年まで5年間に及ぶ裁判を経験しました。教団は割れ、メンバーは去り、地域社会における浄土宗への信頼を大きく傷つけました。当時、松本眞岳元社会国際局長は何度もロスに足を運ばれ問題解決に奔走されました。続く谷地玄雅元社会国際局長は、北米総監の職を受け浄土宗の信頼回復のためにロス・日本・ハワイから総勢200名を超える参詣者を集め、2007年11月に稲岡康純元宗務総長を導師にお迎えし『北米開教70周年記念法要』を厳修しました。法要後のランチで、稲岡総長がロスの檀信徒

一人一人に和やかにお言葉をかけて回られていたお姿が印象に残ります。翌2008年、訴訟が終結。長年心痛を与えた檀信徒の皆様に対する御礼と浄土宗の信仰を心に刻んでいただくことを目的とし、2010年12月に有本亮啓上人を勸誡師に迎え『五重相伝会』を開筵しました。近江隆寛上人はじめ全国より教師20名のご随喜、現地受者・聴講者と総勢150名を超える大法会となりましたが、これは偏に教授師として勤められた故本田行憲上人の並々ならぬご努力が実を結んだ結果でありました。また多くの檀信徒の方々が有本上人の法話に感銘を受け、浄土宗に入信して本堂で念仏を称えられています。有本上人の法話に英訳を付けたDVDは現在でも人気を博しています。



2007年 檀信徒と話される稲岡総長

2012年6月には、北米浄土宗の健全性をロス地域社会に広めるために、伊藤唯眞浄土門主猥下のご親修をいただき、豊岡鎌尔宗務総長を脇導師にお迎えして、有本亮啓上人の五重作礼、福岡教区雅楽会・大阪教区詠唱会・元浄土宗開教使会のご随喜を頂戴し、総勢300名の参詣者と共に『法然上人800年大遠忌法要』を厳修しました。伊藤猥下におかれましては長旅のお疲れにもかかわらず、現地のラジオ局を通してロス地域社会へお言葉を発信され、また日系敬老ホームを慰問されお念仏の教化を図られました。



2012年 敬老ホームを慰問される伊藤猥下



2012年 法然上人800年大遠忌法要

こうした記念法要と共に、本院では年間通常法要・水子供養・各種祈願・老人ホーム慰問・ラジオ法話・別時念仏会・コラム掲載等の教化活動を行っています。年間法要では参詣者数が少しずつ増え、昨今では50名を超えるようになり、全員が大きな声で「南無阿弥陀仏」と称え

続いて2017年6月には、「家族と共にお念仏を」をテーマに、本田行敬上人(導師)・山本昌利上人(脇導師)、そして石見教区から5名の教師をお迎えして、『北米開教80周年記念法要』を厳修しました。この法会には檀信徒120名が参詣され、子どもの成長祈願を念じて全員の灌頂洒水が行われました。石見教区の皆様は、ランチの席で参詣者一人一人と会話をされ心温まる交流をしていただき感謝をしております。また本田上人と山本上人は、現地日本語ラジオ放送に出演され「働くとは、周りの人を楽にするため自ら動くことです」と日系社会に対してメッセージを寄せられました。

現在、北米本院の懸案は寺院周辺の治安悪化です。昼夜を問わずホームレスが住み着きスラムの様相を呈しており、檀信徒の安全確保が困難な状況です。法要に参詣された檀信徒の車が、法要中に車上荒らしに遭い、車中のハンディキャップ証書を盗まれるという事件も起きています。こうした状況を鑑み、浄土宗では、2016年5月の北米開教区理事会で堂宇移転の問題が討議さ

られます。さらに大晦日夕方に往く一時間の念仏会では20〜30名の方々が熱心にお念仏を称えられ二年の終わりととして大変貴重な経験でした。「すがすがしい気分になりました」といった感想を述べられます。とくに若い方々の参加が顕著で、彼らの口から「有難かったね」という言葉を漏れ聞いている嬉しく思います。



2010年 五重受者代表と有本勸誠師

れました。その後佛教大学は2017年3月末にロス校を閉校。2017年12月に北米開教区理事会で堂宇移転が決議され、2018年2月に現地不動産業者と建物売却委託契約が交わされ現在に至っています。檀信徒の皆様も状況をよく理解され建物移転に賛同の意を表され、「安全な駐車スペース」という希望を口にされています。よって「ご本尊様を安全な聖地へお移りいただき、檀信徒の方々に安心して参詣いただくこと」を毎日ご本尊様をお願いしている状況です。



2018年 七五三

南米開教区65周年記念 五重相伝会

南米開教区開教総監

佐々木良法



クリチバ剃度式

南米開教区は、今年平成30年に開教65周年を迎え、その記念事業として五重相伝会を開筵しました。当開教区においての五重開筵は、開教40周年にサンパウロの別院日伯寺及びマリంగా日伯寺にて開筵以来25年ぶり、今回行ったイビウーナ、クリチバ両寺においては、初めての開筵となりました。

まず、2月9～11日の3日間にクリチバ日伯寺で行い、大江田晃義同寺主任開教使の伝燈師、45名の受者が入行、次に2月16～18日の3日間、イビウーナ日伯寺にて櫻井聡祐同寺主任開教使の伝燈師、57名の受者が入行してそれぞれ行われました。

今回の五重相伝には、日本から、松野瑞海上人（長崎・法源寺）を勧誡師、元南米開教使で同じく松野瑞光上人（長崎・法源寺）を教授師、河合真人上人（京都・瑞林院）を回向師として、また随喜寺院として、江崎浩道上人（長崎・光明寺）、前田智海上人（福岡・西林寺）、前田浄健上人（長崎・浄福寺）、辻本大定上人（長崎・善隣寺）の4名をお迎えし、計7名のご上人方にお手伝い頂きました。ボランティアで2月7日～20日の14日間ブラジルに滞在し、長旅の疲れにも負けず、素晴らしいチームワークで準備実行に尽力して頂き、開筵中は受者お手伝い、ボランティアの方とも、積極的に交流を深め、終始和やかな雰囲気づくりに努め、当事業を大成功に導いていただきました。彼らのリーダーたる僧侶としての態度は、受者に大いに好印象を与え、信仰をより深める大きなきっかけとなり、開教使陣も多くの

事を教えて頂きました。まさに彼ら無くして今回の五重相伝会の成功はあり得ませんでした。

上記2カ寺の他に、マリంగా日伯寺においても、勧誡師、訪伯団からの希望もあり、同寺関連の高齢者福祉施設「和順ホーム」の利用者36名を対象に、特別に「日五重相伝会」を開筵して頂き、高齢である受者の体調に負担のかからないよう、短時間で行いました。

計画段階では、クリチバ、イビウーナ両寺各40名、計80名の受者を目標としていましたが、3カ寺合計で138名が成満し、目標を大きく上回る受者数となりました。特にクリチバは受者45名全員が3日間、遅刻、早退もない全員皆勤で成満、





勸誡師 松野瑞海上人



日本と南米の僧侶



イビウーナ受者

クリチバ開教の確実な実績と将来性の大きさを裏付ける結果となりました。

今回、最も印象的な事は、受者の方々のお念仏の声が高まり、真剣に手を合わせる姿、顔つきが、日増しに明るく輝いていく様子でした。最終日には、受者だけでなく、スタッフである僧侶もみな感動して涙を流し、五重相伝が無事に成満できた喜びを分かち合いました。

現在も、受者の方々から会うたびに「五重相伝に入行して良かった」と喜びの言葉をいただく

しており、本当にありがたいことであったなと心より感謝しております。

このように、今回の五重開筵は、記念事業として行いましたが、二開教活動としても十分な成果が上がり、浄土宗海外開教の高い国際的可能性の再認識という点で、5年後の開教70周年、当開教区の明るい将来を臨む意味でも記念すべき事業であったと感じております。

この五重相伝で得た経験、檀信徒の法縁を大事にしながら、今後も開教使、開教助員

一同、更なる南米開教の発展に尽力していく所存であります。

最後になりましたが、この五重相伝開筵にあたり、ご祝辞、ご祝香を賜りました総本山知恩院様、伝巻、贈五重伝巻、ご祝辞、ご祝香のご寄贈を賜りました大本山善導寺様には、本当に心より御礼申し上げます。

今後とも、皆様のさらなるご指導、ご鞭撻、並びにご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

合掌

阿弥陀寺における寺子屋

オーストラリア開教地主事 ウィルソン哲雄

2016年2月、子供を対象とした事業「寺子屋」を始めました。これを始めたのは、様々な理由があります。まず、阿弥陀寺の周辺に住む子供たちに日本語を教えてほしいと頼まれたこと、それから私自身がブリスベンの高校で長年日本語の教師をしていた経験から、寺子屋で教えることは指導技術を保つために私自身に

とてもよい機会であると思っただけです。そして一番大事なのが、寺子屋を通して子供たちと日本のお寺との関係を繋げていくことです。

文化を受け入れることはとても重要です。寺子屋に来る生徒は、8歳から11歳の小学生です。1週間おきの土曜日の朝10時から11時の間でスクールホリデー以外の期間に行っています。「あい、うえお、かきく：わをん」と音読することから授業は始まりません。そして、色々な表現方法や、平仮名を習って書きます。その後は日本の絵本の読み聞かせをします。侍や忍者の塗り絵も楽しんでいきます。子供達の上ではとても早く、自己紹介などですぐに流暢に話すことができます。親も、子供たちが上手に発音し、数多くの表現方法を習得しているのが驚いています。母の日や父の日などの行事もお祝いし、平仮名で感謝の気持ちを書いた綺麗なカードを手作りします。そして去年は、初めて七夕の節句もお祝いしました。親も子供達と一緒に短冊に願い事を書き、笹に飾り付けました。そのあとは、紙芝居で織姫と彦星のお話を楽しみました。これは日本文化の一部を紹介できるいい機会になったと思います。

毎回、授業の最後には、皆で日本のお菓子と冷えた麦茶を飲みます。これも、生徒や親、私自身にもリラックスして楽しむ貴重な時間です。それに、私の日本での経験を話せる場にもなっています。また便利なこと、阿弥陀寺の近所には、日本食が簡単に買えるスーパーがあります。

授業料は一回につきゴールド



感謝申し上げます

とるのが難しいことが時々あります。そのため、子供たちをバイリンガルに育てるには正しい日本語を教える必要があります。そして寺子屋に参加することで日本の文化と繋がります。この場合、日本語を学べるだけでなく、日本人とその文化についても理解が深まります。他民族国家であるオーストラリア人として、この国以外の

文化を受け入れることはとても重要です。寺子屋に来る生徒は、8歳から11歳の小学生です。1週間おきの土曜日の朝10時から11時の間でスクールホリデー以外の期間に行っています。「あい、うえお、かきく：わをん」と音読することから授業は始まりません。そして、色々な表現方法や、平仮名を習って書きます。その後は日本の絵本の読み聞かせをします。侍や忍者の塗り絵も楽しんでいきます。子供達の上ではとても早く、自己紹介などですぐに流暢に話すことができます。親も、子供たちが上手に発音し、数多くの表現方法を習得しているのが驚いています。母の日や父の日などの行事もお祝いし、平仮名で感謝の気持ちを書いた綺麗なカードを手作りします。そして去年は、初めて七夕の節句もお祝いしました。親も子供達と一緒に短冊に願い事を書き、笹に飾り付けました。そのあとは、紙芝居で織姫と彦星のお話を楽しみました。これは日本文化の一部を紹介できるいい機会になったと思います。

毎回、授業の最後には、皆で日本のお菓子と冷えた麦茶を飲みます。これも、生徒や親、私自身にもリラックスして楽しむ貴重な時間です。それに、私の日本での経験を話せる場にもなっています。また便利なこと、阿弥陀寺の近所には、日本食が簡単に買えるスーパーがあります。

授業料は一回につきゴールド





ひらがなの授業風景



絵本の寄贈にご協力くださいましたみなさまに、心より



授業が終わるとみんなでおやつをいただきます

コインを頂いています。オーストラリアでは、1ドル硬貨と2ドル硬貨が金色をしていて、ゴールドコインとはそのどちらかを指します。私がこれに決めたのは、寺子屋は誰もが利用できる場であり、金銭的な理由で来れなくなる人がいてはいけないと思うからです。そして偶然にも、ゴールドは極楽の色でもあります。少額ではありますが、皆から集めたお金でコピー代、茶菓子代は十分に補えます。

寺子屋開始時は順調でしたが、授業が進むと蔵書の痛みや、また新刊が少ないことがら読み聞かせの素材不足に悩みました。そこで、日本に寄付の依頼をしました。社会国際局が中心となってメッセー지를送り、短期間の間になんと約300冊の本が集まりました。速さとその数に、嬉しさと驚きを隠せませんでした。寺子屋事業にご理解をいただき寄付をしてくださった寺院、学生、檀信徒の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。子供達に日本のやさしい心や、お念仏の心を伝えるため、大いに活用していきます。本当にありがとうございました。



七夕の飾りつけをしました

この3年間、阿弥陀寺の寺子屋は、子供たちを通じて様々な形で充実したものとなりました。これを超えることによつて、些細な方法ではありませんが、日本とオーストラリアを結ぶ強い橋を作っていくことに貢献できます。この重要な役割は、法然様のみ教がこの地にも根付いているからこそ可能なことです。阿弥陀寺は、この地オーストラリアで常に浄土宗の代表です。



お母さんの短冊に願い事を書きました

僧侶目指し

ドイツ人メンバーが得度式

フランス開教地主事 高僧光隆

2019年2月11日、阿弥陀様、法然上人に惹かれた一人のドイツ人が約30名の受者と共に大本山増上寺で得度式を受け、八木季生大僧正台下より度牒を授かった。ケルン市の郊外に住んでいるフランク・ビュトゲン氏という男性である。

興味を持っており、もっと学びたい旨のことが綴られていた。「私は日本の企業に勤め、そのドイツ支店長をしています。仕事の関係で日本へはしばしば出張があります。ある時、私は増上寺に行き、大殿の阿弥陀様と出会いました。するとなぜか急に心の安らぎを感じ、ずっと前から阿弥陀様と何らかのご縁

があったのではないかと思いましたが。早く浄土宗、法然上人の教えを学びたいと考え、パリの浄土宗ヨーロッパ仏教センターのメールアドレスを聞き、連絡をしました」とのことだった。そして当センターの行事に参加したいと言ってきた。行事予定を送ったところ、彼はすぐ3月の彼岸会に来て、メンバーと共にお会いした。彼はとても流暢に日本語を話す。それにメンバー一同驚いた。その夜は私たちの協会の拠点、アコンに1泊してもらった。以後メールのやり取りが始まった。

10月、彼が浄土宗の教えを本格的に学び、浄土宗の信徒となる得度式を受けたいという相談を受け、彼の自宅へ向かった。自宅に招かれ奥様ともお会いした。手製の仏壇も見せてもらった。話を聞いていて分かったが、彼は大学では言語学を専攻し、日本語を選んだ。

日本の大学にも留学し、その間には禅寺にも通い座禅も体験した。また日本文化に興味を持ち、狂言や居合道、鍼灸なども習い、なかなか多彩な才能の持ち主である。また、実は彼は常々ご自身の心に向き

合っていることを感じた。人生をより良く歩みたいと求める時、「こころ淨らかに澄み明るく軽やかに」という安心が1番肝要ということをまさに彼は示しているように思った。また自身が阿弥陀様、法然上人の浄土宗開宗の教え、お念仏に出会われ、自分の歩む道を感じたのだと思う。私はこのように感じ、この得度式を受ける彼の師僧を引き受けさせていただき、大変有り難く、良い出会いをいただいたと感謝している。フランク氏は阿弥陀様に会われた増上寺で得度式を受け、とても感激していた。その夜、私たちはお祝いをした。

法然上人が説かれる釈尊一代の法門をすべて含んだ念仏の教え、それは心のお教えであり、各々が自身のいのちと真正面に向き合い、だれでも、いつでも、どこでも出来る、まさに平等往生の行、それを共に学び、行じていきたい。彼はそれを私に再確認させてくれた。

彼と当地メンバーの方々と共に法然上人の念仏の教えを学び、それを行じることを楽しみにしていると思う。



大本山増上寺にて



度牒を授かるフランク氏

海外開教区存亡の危機

～「葬儀教化」からの脱却を目指す～

第9回 開教公開カンファレンス

平成30年11月16日(金) 13:00～17:00

浄土宗教化研修会館(源光院)



戸松師

開教公開カンファレンスも9回目を迎えた。今回は、海外開教にスポットをあてたが、少し刺激的なテーマである。宗教教団が「葬儀教化からの脱却」を目指すのだから。しかしながら、改めて「開教とは？」を考えるには、厳しいながらもふさわしいテーマかもしれない。

まず基調講演として、浄土宗総合研究所主任研究員の戸松義晴師が、「海外開教寺院が目指す社会的役割」と題して、海外開教使の日々の活動から我々日本の寺院、僧侶が何を学べるかについて話された。



河合師

一方では、医療、介護、看護は地域の自助、共助が求められ、寺院も社会からその担い手として期待される。お寺とは、法要の時のみの存在ではなく、普段の生活の中で地域の社会や人々と信頼関係を構築することが重要となる。こうした関係が築かれて初めてこの寺の住職にお経をあげてもらいたいと思うのではない。海外では、日頃からの関係構築、檀信徒だけでなく信仰心のある方、仏教へ関心のある方への積極的なアプローチはすでに行われている。人生をどのようによりよく生きていくかということに一緒に関わられる関係づくりが日本の寺院でも大事である。戸松師はこのように警鐘を鳴らした。

続いて、南米開教区65周年記念五重相伝会で回向師をされた京都教区瑞林院住職河合真人師は、「現状維持は衰退である。」と指摘する。檀家制度に胡坐をかかず、人や地域社会とのつながりを大事にし、それらに寄り添う南米開教区のスタイルにお寺の将来があると熱く語られた。

最後に、海外開教区の総監、開教使の方々から日頃の活動が報告された。海外では先祖供養が一般的ではなく、メンバーの方々とは法要の時だけではなく、日常的に交流することが普通で、入院中でも法衣のままでお見舞いに行き、病院でもそれが受け入れられている。生前から深い信頼関係が構築されているからこそ、このようなことができるらしい。なにしろ教師とメンバーとの垣根が低いのだ。日頃からのつながりを大切にしてきた結果である。将来はSNSによる布教活動にも目を向けている。そのネットワーク内では様々な質問・相談が飛び交う。仏教に関して興味のある方が訪れられる



海外開教の現状を話す開教総監・開教使

入口を様々な用意しておくことでお寺、仏教が身近のものになる。また、YouTubeなどを使ってこちらから発信することも大事である、と海外開教寺院は積極的である。日本でも、海外と同様に仏事が減り、寺離れ、宗教離れが進んでいる。日本も開教区と同じような危機感をもつて、日頃からの関係づくりに励む必要がある。海外開教の現状は、もう日本でも現実のものとなりつつあるのだ。



座談会にて発言する国内開教使 大和田聖二上人

研 修 日 程

開催日 平成30年3月13日(火)開催

テーマ

「寺院僧侶が目を向けるべきところとは…」

- 9:30 開会式
- 9:40 研修Ⅰ 講義「葬式仏教のあるべき姿」
講師：薄井 秀夫 先生
(株式会社寺院デザイン代表取締役)
- 12:40 研修Ⅱ 講義「最近の法務事情について」
～墓じまいとペット供養～
講師：中野 孝昭 先生
(一級法式教師 東京教区春春院副住職)
- 15:00 研修Ⅲ 座談会「国内開教使の取組みと課題」
(意見交換・質疑)
- 16:20 閉会式

平成29年度 国内開教使 研修会報告

平成29年度国内開教使研修会
は平成30年3月13日に記載の日程で開催いたしました。
平成29年度は「寺院僧侶が目を向けるべきところとは…」をテーマに掲げ、丸一日の日程で研修を行いました。現役の国内開教使や元国内開教使など、合計17名がこの研修会に参加し、日々の活動の糧とするべく研鑽を積みました。

講義「葬式仏教のあるべき姿」
講師 薄井 秀夫 先生

国内開教使は、一般ご寺院の檀信徒のような今までお付き合いのある方ではなく、初めてご縁をいただいた方に法を施す使命があります。葬儀社、霊園、石材店など業者の方々から寄せられる「葬儀」や「法事」がご縁のきっかけとなることが多いのが事実です。

一方、「葬式仏教」と揶揄されて久しい我々僧侶を取り巻く環境が厳しくなっているのも現実です。しかしながら、本当に「葬式仏教」は悪いのか？「葬式はいらぬ」、「葬式はやらぬ」などの「葬式離れ」は、その内容、あるいは我々僧侶の心構えに問題があるのかもしれない。

研修Ⅰでは「葬式仏教のあるべき姿」と題して薄井秀夫先生にご講義をいただきました。

講義の中で薄井先生は「葬式仏教」と揶揄されて久しい現代の仏教ではありますが、その「葬式仏教」について非常に前向きなとらえ方をされています。



研修Ⅰ 薄井秀夫先生の講義の様子



座談会にて発言する国内開教使 堤忠春上人

した。

直葬の増加や、墓じまいなどの現在取り沙汰されている問題は、社会が変化したことでこれまで当たり前だった仏教の在り方と「ズレ」が生じてしまったことの表れであって、現代社会の日本人の信仰心が無くなり表面化した問題ではないのだとお話しされていました。

一方で現代の葬儀は僧侶が行うものであるという意識が強すぎ、参列者傍観者になりがちであり、現在の葬儀に足りないのは「説明」と「参加」であるとのことでした。

こうした、まさに我々僧侶が直面している諸問題について、檀信徒の視点に立った講義をしていただき、研修に参加の皆様も真剣な表情で聞き入っていました。

講義「最近の法務事情について
「墓じまいとペット供養」
講師 中野 孝昭 先生

薄井先生の講義でも取り上げられていたように昨今、墓じまいの話がよく聞かれます。

例えば地方寺院では、離れて住む後継者が、身近にお墓を求め直すことから、「お墓をお返しします」というようなことがあり、都市部でも、子供がいないのでお骨を合祀墓に移したい、そのような話も聞き及びます。お施主様の事情は多様化しており、墓じまいもよほどの事情なのだと思います。

また現代では、ペットは家族の一員として可愛がっている方もおられます。「ペットロス」という言葉もあるくらい、愛するペットに先立たれる悲しみは計り知れないものがあります。亡くなったペットを懇ろに弔ってあげることができたら、どんなにお施主様の心が安らぐことでしょうか。

研修Ⅱでは、最近の法務として、「墓じまい」と「ペット供養(特に葬儀(告別式)と追善供養)」を取り上げ、一級法務教師である中野孝昭先生をお招きして、法要的教義的な根拠、差定、表白、実際に厳修する際の注意点などご講義していただきました。

「墓じまい」や「ペット供養」

を依頼された際に、お施主様の心に寄り添いつつ、法務を厳修できるようにするための貴重な学びの時間となりました。

座談会
「国内開教使の取組みと課題」

研修の最後に、研修会への参加者全員で輪を作り座談会を行いました。当時現役の国内開教使を中心として、元国内開教使や国内開教委員、宗務庁の国内開教担当職員も交わり、参加者全員で様々な意見の交換が行われました。当時1期目の国内開教使であった堤忠春上人(茨城教区清浄院)と大和田聖二上人(三州教区聖蓮寺)のお二人にとって、先達のご意見は実のある話であったと思います。

国内開教使の皆様にとっても、また今後の国内開教事業全体にとって、非常に価値ある研修会となりました。

各開教区開教使名簿

平成30年12月31日現在

開教区

	氏名	赴任寺院
ハワイ	開教使(総監代行) 江崎 晃司	ハレイワ浄土院
	原 源照	ラハイナ浄土院
	ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィ浄土院・コハラ浄土院
	石川 広宣	コロア浄土院・カパア浄土院
	宮崎 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
	原 潮音	ワイルク浄土院・カフルイ浄土院
	中野 寛淳	ハワイ浄土宗別院
北米	開教総監 後根 定璽	北米開教本院・シカゴ浄土宗教会所
	開教使 田中 孝道	北米開教本院
南米	開教総監 佐々木良法	南米浄土宗別院日伯寺・マリンガ日伯寺
	開教使 佐々木陽明	南米浄土宗別院日伯寺
	稲場 明忠	南米浄土宗別院日伯寺
	根石 啓史	南米浄土宗別院日伯寺
	山田 英規	南米浄土宗別院日伯寺
	櫻井 聡祐	イビウーナ日伯寺
	大江田晃義	クリチバ日伯寺

海外開教地

氏名	指定地域
James Wilson 哲雄	オーストラリア・ブリスベン
高僧 光隆	フランス・パリ

国内開教指定寺院

住職名	寺院名	所在地
堤 忠春	清浄院	茨城県小美玉市
大和田聖二	聖蓮寺	沖縄県豊見城市

会員名簿

原則として功績点付与者を掲載しています。

名誉会員 (所属は納入時)

Table of honorary members with columns for region (教区/組), temple name (寺院名), and name (氏名).

賛助会員 (所属は納入時)

Table of supporting members with columns for region (教区/組), temple name (寺院名), and name (氏名).

Table of members with columns for region (教区/組), temple name (寺院名), and name (氏名).

Table of members with columns for region (教区/組), temple name (寺院名), and name (氏名).

正会員 (所属は納入時)

(平成29年4月1日〜平成30年3月31日)

Table of regular members with columns for region (教区/組), temple name (寺院名), and name (氏名).

宮城												山形					秋田				岩手		上北																												
第三			第二			第一			鶴岡		山形		置賜		中央		泉南		気仙		花巻		盛岡		三八		下北		上北																						
長龍寺	浄土寺	雲上寺	願行寺	愚鈍院	昌繁寺	西方寺	藤澤寺	常念寺	稱念寺	専光寺	梵行寺	實相寺	常念寺	常光寺	桃雲寺	浄蓮寺	善明寺	庄嚴寺	浄願寺	浄土寺	善明寺	真城寺	松岩寺	廣隆寺	善導寺	光臺寺	圓光寺	大泉寺	來迎寺	光月寺	多善寺	光明寺	平安寺	常照寺	遍照寺	観音寺															
那須	中澤	東海林	神尾	中村	佐藤	大田	佐藤	渡邊	佐藤	白川	長澤	渥美	渥美	一彦	楠美	高橋	田村	三宮	鬼海	菅原	野中	吉水	小川	谷地	柴内	岩瀬	加藤	鈴木	木村	古川	久慈	築田	葛西	大関	武田																
祐宣	秀宣	良雲	文應	龍樹	純也	紘義	宗雲	成就	智史	鳳韶	明好	正俊	正俊	知剛	龍史	昭學	良悅	憲定	信隆	瑞秋	英道	義教	隆英	玄明	興信	崇史	光順	篤雄	迎世	正義	徹雄	成義	滿永	信義	覺順	全享															
茨城												栃木					群馬		福島																																
猿島			絹			常総			霞北		水戸		塩那		宇都宮		足利		館林		桐生		藤岡		高崎		中央		福島		第五		第六		第五																
本願寺	高福寺	宝輪寺	弘経寺	蔵福寺	廣大寺	莊嚴寺	弘経寺	調法寺	得生寺	照光寺	誕生寺	光台寺	西光寺	常念寺	西導寺	清嚴寺	法藏寺	吞龍寺	近龍寺	寶龍寺	德正寺	法玄寺	神光寺	淨運寺	前橋	崇近寺	正幸寺	長念寺	稲村	瀧澤	神宮	龍光寺	九品寺	常宣寺	善導寺	誓傳寺	如來寺	専称寺	九品寺	往生寺	來迎寺	西光寺									
峯崎	小澤	田中	友田	吉水	山崎	古屋	金田	松本	長谷川	吉水	安西	奥野	輝秀	福田	荒川	樋口	長田	佐々木	松濤	小林	采澤	和田	萩原	茂木	稲村	瀧澤	神津	稲村	現秀	博道	清芳	神宮	神宮	蓮沼	中村	日塔	青柳	遠藤	遠藤	豊嶋	奥山	樋口	中村								
和芳	清規	勝道	達祐	成正	良仁	冬彦	道徳	一浩	静光	幸憲	弘志	輝隆	達雄	明英	良弘	正直	善住	孝佳	龍雄	良浩	幸信	康靖	恵順	博道	現秀	一行	良弘	清芳	一行	博道	現秀	博道	清芳	一行	隆敏	徳裕	良憲	和長	顯道	顯道	瑞俊	清康	隆信	悟眞							
東京												埼玉																																							
城南				芝				第四				第三				第二				第一																															
清林寺	松光寺	榮立院	安蓮社	妙定院	寶松院	観智院	常照院	雲晴院	威徳院	天光院	先光寺	圓心寺	蓮光寺	東源寺	西運寺	勝願寺	正光寺	深廣寺	浄信寺	神宮寺	清光院	聖福寺	浄泉寺	浄国寺	圓福寺	眞福寺	西光寺	源光寺	源光寺	安國寺	報土院	浄捷寺	自然寺	浄念寺	相願寺	十運寺	長伝寺	眞福寺	源長寺	常福寺	大信寺	專稱寺	西福寺	常繁寺							
椎尾	與芝	福西	福原	小林	松壽	土屋	野村	小篠	真野	眞野	小川	齊藤	押見	島田	藤田	岡本	石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	今井	今井	峯山	川端	熊井	池田	熊井	里見	里見	町田	渡邊	嘉村	戸溪	名和	和氣	宇高	大和	加藤	小林	渡邊	樋口	赤羽	船岡	了順	了祐					
巨人	眞彰	賢雄	秀美	正道	泰彦	正道	恒道	恒道	竜人	威人	寧山	祐寛	義宏	孝之	祐孝	得三	実乘	正順	浩臣	直人	照明	康隆	達雄	清光	常臣	知仁	元善	義弘	純庸	満真	唯真	義正	文有	一貴	義明	昭祐	良哲	康内	忠雄	良明	昭彦	清行	道寛	了順	了祐						
玉川												北部				城北				浅草				江東				豊島				城西																			
浄眞寺	欣浄寺	蟠龍寺	光増寺	正安寺	法随院	林松寺	西松寺	寿永寺	満光寺	浄正寺	瑞泉寺	浄心寺	貞源寺	善徳寺	源空寺	聖徳寺	清光寺	長壽院	榎寺	法林寺	神田寺	法然寺	安養寺	西光寺	重願寺	本誓寺	正覚寺	圓通寺	松林院	正覺院	仲台寺	功徳林寺	浄心寺	長安寺	善光寺	梅窓院	東運寺	正受院	専心寺	戒法寺											
清水	安井	吉田	泉原	田丸	大谷	鳥崎	後藤	澤	高田	多賀谷	里見	榎本	藤木	大谷	角岡	岡本	北川	日比野	大谷	友松	西城	渡部	古宇田	大谷	福田	鈴木	後藤	清水	安孫子	関野	新谷	佐藤	岡本	川名	中島	大村	原口	柴川	長谷川	倍潤											
将彦	英碩	昭雄	秀雄	忠夫	嶺信	豊彦	了寛	煌礼	昭仁	友芳	哲雄	裕輔	雅清	豊彦	隆壽	賢秀	圭示	一有	郁皓	泰彦	浩志	秀徳	宗隆	亮順	亮雄	行慈	宏徳	眞法	信純	虔悦	良継	仁彦	雅彦	宣丈	隆信	觀恵	真成	知彰	信海	知海	信海										
長野	富山	新潟	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨						
長野	富山	新潟	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨					
堂明坊	極樂寺	医王寺	専称寺	曼陀羅寺	撰取院	善導寺	大仙寺	高田	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院					
若麻績	梅原	泉	藪内	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸				
秋嘉	聖彦	清孝	白雲	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦				
長野	富山	新潟	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨			
堂明坊	極樂寺	医王寺	専称寺	曼陀羅寺	撰取院	善導寺	大仙寺	高田	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院		
若麻績	梅原	泉	藪内	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	眞岸	
秋嘉	聖彦	清孝	白雲	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	
堂明坊	極樂寺	医王寺	専称寺	曼陀羅寺	撰取院	善導寺	大仙寺	高田	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	道場院	
秋嘉	聖彦	清孝	白雲	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦	勝彦

京都

鴨川

三縁寺	阿弥陀寺	長源寺	浄念寺	心光院	摂取院	西福院	福蔵院	照臨院	龍光院	瑞泉院	金光院	顕岑院	清賢院	福蔵寺	禪法寺	養源院	瑞林院	寿仙院	琢窓院	善導院	光福寺	長徳寺	常林寺	正定院	上善院	西園寺	慈福寺	光明寺	婦白院	圓通寺	龍泉院	定信院	善導寺	榎法寺	專稱寺	西方寺	信行寺	大光寺	正行寺	清光寺	正念寺	往生寺
勝田	藤村	富田	村橋	池原	大矢	入江	齋藤	城戸	井上	戸川	白崎	本庄	大塚	渡邊	上野	河合	平	田中	幸弘	伊藤	坪井	板倉	木村	福原	大野	高田	岡	藤堂	佐々木	西	邦久	信久原	朽木	勤息	田原	本多	南	松本	成木	本田	伴	
良樹	典主	龍也	尚隆	邦彦	邦明	一冲	蒙光	正憲	昌紀	克彦	顯成	良英	眞隆	公嗣	孝雄	孝俊	祐世	敬祥	幸弘	雅彦	道彦	隆昌	純香	徹心	貴雄	稔道	政俊	俊英	仲介	邦久	雅文	智信	照純	孝昭	忠信	義朗	雅壽	正史	宏仁			

京極

良正院	先求院	松宿院	青龍寺	西光寺	安祥院	地藏院	隆彦院	正林寺	喜運寺	洞雲寺	念佛寺	称名寺	浄雲寺	念佛寺	九品寺	新善光寺	本覚寺	浄国寺	永養寺	空也寺	勝円寺	聖光寺	透玄寺	浄教寺	春長寺	天性寺	正覚寺	光徳寺	稱名寺	常光院	生蓮寺	大念寺	城安寺	來迎院	大蓮寺	西昌寺	淨源院	光安寺	永運院	勢至院	大超寺	信養院	高樹院
細井	奥	岸村	篠原	鳴瀧	加藤	梅辻	吉澤	佐藤	二宮	田中	釋	友博	廣兼	本部	相村	志水	當麻	石井	青木	小林	後藤	後藤	小林	塩竈	當麻	土方	三縁	岡見	梶田	鈴木	佐伯	梅木	服部	竹村	芳井	堀池	安井	土肥	豊原	大河内	竹本	隆範	
宏俊	宗憲	晶三	行雄	和美	泰雅	博信	秀則	健	政雄	祐念	淳孝	良正	圓靜	恒彦	久純	章英	輝明	正道	稱光	克明	隆幸	義晴	隆宣	了彦	勝弘	弘道	昌也	俊雄	介隆	智章	良順	教哉	昌定	俊定	雅純	真司	成彦	光正	光昭	光昭			

大宮

浄光寺	超勝院	永寿院	報恩寺	招善寺	吟松寺	西蓮寺	玄忠院	慶善寺	寶藏院	高山寺	香林寺	広見寺	冷聲院	地藏寺	福元院	西方寺	稱名寺	極楽寺	福田寺	龍岸寺	大泉寺	西岸寺	西照寺	長圓寺	專故院	法宣寺	正法院	婦命院	月輪寺	聖徳寺	光縁寺	成道院	西方寺	妙嚴院	称念寺	如來寺	正運寺	成円寺	善徳寺	善想寺	西念寺	浄心寺	入信院
森野	岩田	石川	大橋	吹田	土屋	林	榊原	恒川	稲岡	稲岡	梶浦	白旗	林	寺田	寺尾	石原	吉水	小田切	田村	池口	漆葉	逢坂	公原	小野	白旗	吉岡	吉岡	西尾	中井	森	中島	山川	大橋	吉水	恒川	興村	杉浦	宮田	青木	高津	村山	鈴木	
現弘	融典	覚静	憲宏	隆道	正信	真匡	裕紹	裕規	憲雄	良将	丈嗣	主悟	俊光	智誠	哲雄	幸雄	敏和	眞恒	弘憲	龍法	成彦	慈教	隆浄	惠介	稔恭	稔雄	尚生	章宏	猷晃	宏護	隆憲	成幸	俊光	忠雄	良昭	米久	光昭	哲緒	宗典	英展	海尊	孝純	俊生

伏見

西運寺	浄雲寺	西岸寺	阿弥陀寺	松林院	來迎寺	大蓮寺	西光寺	三宝寺	勝念寺	大栄寺	栄運寺	常念寺	光昭寺	觀音寺	常泰寺	蓮心寺	誠心寺	常安寺	撰取院	竹林寺	西正寺	昌福寺	浄篤院	成等院	祐正寺	勝巖院	善福寺	五劫院	福寿院	浄円寺	松原寺	地藏院	成願寺	隨念寺	親縁寺	護念寺	智恵光院	淨福寺	善福寺	瑞雲院	石像寺
小坂井	馬淵	森	岩井	山村	藤原	宮田	五島	吉水	松葉	伊藤	井畑	長谷雄	澤田	大河内	前澤	井上	登田	田村	松葉	浦田	澤崎	大内	山田	石橋	五島	前田	岩城	大河内	水谷	伊藤	藤井	藤原	國枝	喜早	西	菅原	荒木	志水	加藤		
淳弘	承教	慶信	信雅	太郎	弘憲	典彦	忠住	昭彦	俊明	早濤	稔弘	良祐	謙照	康憲	泰宏	承爾	正樹	和教	昌典	裕人	芳誠	信昭	秀善	直樹	要津	歆学	尚楓	成忍	良治	浩之	史郎	幸治	了孝	利章	信考	邦光	好規	淨智	廣隆		

八幡

福王寺	浄音寺	阿弥陀寺	阿弥陀寺	因性寺	安養寺	金方寺	西方寺	願行寺	正覚院	惠福寺	唯心寺	西方寺	増福寺	福王寺	極楽寺	福應寺	西樂寺	大圓寺	宝迎寺	西念寺	光照寺	南泉院	長圓寺	常念寺	大念寺	安養院	光林寺	永福寺	浄貞院	阿弥陀寺	海徳寺	惠光院	戀塚寺	本光寺	誓祐寺	是住院	願生寺	寶圓寺	龍源寺
福田	法澤	寺西	宮本	武田	吉水	雲原	盛田	高志	寺川	光成	吉木	佐藤	高橋	高田	八幡	佐藤	徳山	河合	小林	白旗	山本	横井	堀	本多	南	木本	水谷	水谷	三輪	長谷川	安藤	菱田	山口	徳山	山中	山中	木村		
桂俊	隆定	正毅	篤信	和清	秀樹	博人	悠記	常明	孟寛	崇道	真聰	龍親	賢司	真弓	光一	文宏	雅雄	和彦	浩輝	文雄	浩之	工善	博之	廣賢	宏道	顯融	弘昭	正人	信亮	正仁	祐朋	周彦	俊也	元興	源弘	久夫	隆生	弘文	

宇治

福王寺	浄音寺	阿弥陀寺	阿弥陀寺	因性寺	安養寺	金方寺	西方寺	願行寺	正覚院	惠福寺	唯心寺	西方寺	増福寺	福王寺	極楽寺	福應寺	西樂寺	大圓寺	宝迎寺	西念寺	光照寺	南泉院	長圓寺	常念寺	大念寺	安養院	光林寺	永福寺	浄貞院	阿弥陀寺	海徳寺	惠光院	戀塚寺	本光寺	誓祐寺	是住院	願生寺	寶圓寺	龍源寺
福田	法澤	寺西	宮本	武田	吉水	雲原	盛田	高志	寺川	光成	吉木	佐藤	高橋	高田	八幡	佐藤	徳山	河合	小林	白旗	山本	横井	堀	本多	南	木本	水谷	水谷	三輪	長谷川	安藤	菱田	山口	徳山	山中	山中	木村		
桂俊	隆定	正毅	篤信	和清	秀樹	博人	悠記	常明	孟寛	崇道	真聰	龍親	賢司	真弓	光一	文宏	雅雄	和彦	浩輝	文雄	浩之	工善	博之	廣賢	宏道	顯融	弘昭	正人	信亮	正仁	祐朋	周彦	俊也	元興	源弘	久夫	隆生	弘文	

洛南

福王寺	浄音寺	阿弥陀寺	阿弥陀寺	因性寺	安養寺	金方寺	西方寺	願行寺	正覚院	惠福寺	唯心寺	西方寺	増福寺	福王寺	極楽寺	福應寺	西樂寺	大圓寺	宝迎寺	西念寺	光照寺	南泉院	長圓寺	常念寺	大念寺	安養院	光林寺	永福寺	浄貞院	阿弥陀寺	海徳寺	惠光院	戀塚寺	本光寺	誓祐寺	是住院	願生寺	寶圓寺	龍源寺
福田	法澤	寺西	宮本	武田	吉水	雲原	盛田	高志	寺川	光成	吉木	佐藤	高橋	高田	八幡	佐藤	徳山	河合	小林	白旗	山本	横井	堀	本多	南	木本	水谷	水谷	三輪	長谷川	安藤	菱田	山口	徳山	山中	山中	木村		
桂俊	隆定	正毅	篤信	和清	秀樹	博人	悠記	常明	孟寛	崇道	真聰	龍親	賢司	真弓	光一	文宏	雅雄	和彦	浩輝	文雄	浩之	工善	博之	廣賢	宏道	顯融	弘昭	正人	信亮	正仁	祐朋	周彦	俊也	元興	源弘	久夫	隆生	弘文	

南 城										相 楽																															
長福寺	宝国寺	観音寺	地蔵院	瑞泉寺	安養寺	念光寺	弘願寺	三縁寺	阿弥陀寺	極楽寺	極楽寺	光福寺	念仏寺	長泉寺	應源寺	西願寺	薬師寺	阿弥陀寺	西福寺	西念寺	西光寺	西光寺	想念寺	十輪寺	妙蓮寺	極楽寺	光福寺	称名寺	観音寺	華臺寺	浄安寺	専念寺	迎福寺	西光寺	光念寺	来迎寺	正光寺	阿弥陀寺	蓮台寺		
西村	登田	西尾	井上	松山	喜早	森田	伊東	櫛	板倉	徳光	大塚	大橋	川添	家田	西山	三田	小松	梶浦	西本	山口	國子	大八木	唐井	加藤	原口	西田	神居	山田	稲田	小嶋	織田	山路	平岡	石丸	坂本	林	松岡	漆間	横井	松永	
静夫	良樹	泰明	昌夫	裕康	信定	祥淳	信祐	芳浩	史彦	順孝	隆善	從道	隆善	豊晴	光信	精司	宏壽	妙瑞	泰文	英善	明央	雄弘	純正	隆圭	章善	善弘	浩幸	伸行	祥淳	文雄	敏嗣	芳範	信照	廣道	竜太	賢司	源道	泰行	洋正	法隆	高志

丹 後										嵯 峨																																	
法鷲寺	安楽寺	浄欣寺	願生寺	教傳寺	長安寺	大恩寺	晴明寺	常福寺	念佛寺	専念寺	大圓寺	西光寺	極楽寺	浄福寺	小松寺	直指庵	円覚寺	念佛寺	称念寺	薬師寺	法然寺	徳林寺	正定院	阿弥陀寺	西光寺	西光庵	長泉寺	善福寺	往生院	導福院	福泉寺	爲因寺	慰稱寺	導行寺	袋中庵	浄光寺	正覺寺	西福寺	安楽寺	西生寺	龍福寺	深廣寺	極楽寺
嵐	田中	加藤	田中	小泉	奥田	大澤	北元	横田	奥田	奥田	大塚	平田	前田	井上	小田	上田	原田	原田	安藤	久松	内藤	森	長澤	木村	藤原	水野	八尾	近藤	成田	成田	大田	三縁	鈴木	賀幡	拜郷	山根	佐々木	石津	豊成	苗村	竹田	古家	青木
典弘	賢祐	辰文	賢祐	顕雄	顕雄	康信	昭性	良生	光信	亮我	昌彦	秀範	昌信	清志	芳隆	裕也	善隆	博雄	靖高	峻道	泰寿	一心	信哉	康裕	智廣	敬俊	信雄	正善	敬俊	信弘	泰雄	稱圓	圓純	英昌	雄俊	良絃	幸次	昌隆	正俊	法孝	宏則	秀應	

大 阪										和 歌 山										奈 良																										
相 阪										日 高										第 一																										
光善寺	大善寺	増福寺	銀山寺	幸念寺	西照寺	光明寺	金臺寺	大蓮寺	浄光寺	哀愍寺	大圓寺	寶樹寺	安楽寺	極楽寺	見性寺	壽法寺	西蓮院	法善寺	源正寺	法善寺	萬福寺	大蓮寺	山本	樂音寺	極楽寺	泉峯寺	奥院	阿日寺	常谷寺	常谷寺	野島	念佛寺	極楽寺	本願寺	常立寺	寶嚴寺	西光寺	長徳寺	榮照院	聖徳寺	天然寺	松林寺	浄土寺	天然寺	天然寺	嵐
戸井	西成	末高	柴田	正木	津原	榎原	秋田	長岡	片山	井桁	大河内	上田	齊藤	家田	伊藤	川村	飯田	山下	中村	神田	塩路	山路	山本	出口	大澤	清水	川中	大橋	細川	野島	三宅	紀氏	柴山	小野	森本	山本	小川	大野	牛田	古寺	忠夫	中島	典弘			
啓瑞	泰史	隆春	真尚	唯真	正孝	光彦	義宣	雅勝	雄弘	良廣	見有	善之	隆紹	真宏	義樹	順寛	義寛	暢時	眞晃	正志	武志	芳演	真我	澄	光教	章孝	文明	敬誠	敬誠	学道	学道	敬誠	正明	康彰	泰淳	貞良	照幸	明生	光景	正道	法俊	忠昭	俊英			

北 摂										東 摂										天 満										東 清 堀										西 清 堀									
法泉寺	西観音寺	安楽寺	浄国寺	考園寺	長楽寺	法住寺	浄福寺	常福寺	乘雲寺	興楽寺	清蓮寺	理安寺	西念寺	専修寺	寿松院	源光寺	提法寺	西福寺	法界寺	妙香院	蟠龍寺	冷雲院	奥之坊	九品寺	長徳寺	大信寺	大信寺	天孔寺	心眼寺	大應寺	洞泉寺	大善寺	誓安寺	誓福寺	天性寺	念佛寺	源光寺	西光院	大雲寺	光聖寺	法泉寺	圓通寺							
山下	小林	秦	磯部	飯田	西田	渡辺	小林	田中	川久保	足立	嶋村	杉山	中川	小原	藤野	松林	服部	豊川	豊川	太田	谷田	皇田	皇田	松田	松田	増山	川久保	橋本	橋本	萱野	山田	小川	得田	西田	亀井	金澤	江崎	秋田	横瀬	安達									
靈瑞	稔和	博文	隆彦	俊昭	海旭	一光	章道	信道	知廣	元明	順功	俊定	法信	泰伸	周道	周道	忠和	可一	寛雄	光司	正敬	探成	皇田	惠三	純三	隆英	善隆	順浩	周晃	周晃	忠之	善裕	善浩	清彦	克昭	裕也	哲也	博司	利治	融志	光哉	隆雄							

泉 南										泉 北										堺										河 北													
浄福寺	安養寺	長樂寺	阿弥陀寺	念仏寺	西方寺	光明寺	西福寺	大泉寺	心福寺	観音寺	専稱寺	法蔵寺	西蓮寺	常然寺	大王寺	光月院	専称寺	宗見寺	浄光寺	常安寺	大心寺	誓源寺	浄泉寺	福成寺	宗宅寺	宗宅寺	専稱寺	来向寺	明遍寺	釋尊寺	稱念寺	正覺寺	観音寺	浄蓮寺	一乘寺	臺鏡寺	浄土院	朝日寺	法蔵寺	富永			
太田	信	野口	佐藤	西口	横井	横井	横田	大橋	梨原	古原	沖野	釜親	釜親	里見	佐藤	田村	山田	丹農	河合	笠井	武田	野口	坂下	中西	赤木	末高	眞野	松本	小倉	山田	岡田	井上	横井	文庫	西浦	真田	山北	寺村	山北	有豊			
成章	憲雄	聖瑞	英州	元彦	祐道	貴光	信雅	三良	隆美	隆美	隆美	法雄	梵之	文洋	秀祐	達祐	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋	文洋

協会事業

① 出版事業

- ・開教振興協会会報『開教』第35号発行……8,000部
- ・『Pure Land Life』（英語版）第31号発行…3,000部
- ・月訓カレンダーポルトガル語版
（南米開教区へ）……………4,000部

文化局から贈呈

- ・月訓カレンダー
 - ハワイ開教区……………485部
 - 北米開教区……………335部
 - オーストラリア開教地……………50部
 - フランス開教地……………30部
 - 国内開教地域（3ヶ寺）……………70部
- ・宝暦
 - ハワイ開教区……………45部
 - 北米開教区……………85部
 - オーストラリア開教地……………50部
 - フランス開教地……………30部
 - 国内開教地域（3ヶ寺）……………70部

② 推進協力事業

1. 国内開教地域への支援

(1) 浄土宗新聞・行事シリーズ・かるな・てらこやブックス配布

次の指定地域に対し、指定解除まで無償配布

○平成29年度

- ・千葉県習志野市及びその近郊
（吉川輝昌師 輝照寺 5期目）
- ・茨城県小美玉市及びその近郊
（堤 忠春師 清淨院 1期目）
- ・沖縄県豊見城市及びその近郊
（大和田聖二師 聖蓮寺 1期目）

2. 海外開教区・開教地への支援

- (1) 南米開教区 南米開教65周年記念
五重相伝会開筵事業
- (2) オーストラリア開教地 花まつり事業
お盆法要・七夕まつり事業
読み聞かせ事業
オープンデー・寺子屋事業
檀信徒組織強化事業
東日本大震災

3. その他事業

- (1) 第8回開教カンファレンスの開催
【日 時】平成29年11月28日（火）
午後1時～午後4時
【会 場】大本山増上寺 慈雲閣
【テーマ】「未来の布教へのヒント」
ゼロからの檀信徒布教
～国内開教寺院を参考にして～

浄土宗
開教振興協会
入会員数

	平成29年度	入会員数
名誉会員		0名
賛助会員		0名
正会員		1,118名

指定寄付納入者 （所属は納入時）平成29年4月1日～平成30年3月31日	
東京 芝 〔教区〕〔組〕 天光院 〔寺院名〕 真野 威人 〔氏名〕 二〇〇,〇〇〇円 〔金額〕 フランス開教地へ	北海道 函松 〔教区〕〔組〕 永称寺 〔寺院名〕 佐藤 曉樹 〔氏名〕 一〇,〇〇〇円 〔金額〕
山形 山形 〔教区〕〔組〕 常念寺 〔寺院名〕 渥美 正俊 〔氏名〕 一〇,〇〇〇円 〔金額〕	東京 八王子 〔教区〕〔組〕 林海庵 〔寺院名〕 笠原 泰淳 〔氏名〕 一〇〇,〇〇〇円 〔金額〕
神奈川 京浜 〔教区〕〔組〕 正蔵寺 〔寺院名〕 専修 大志 〔氏名〕 一〇,〇〇〇円 〔金額〕	一般寄付納入者 （所属は納入時）平成29年4月1日～平成30年3月31日

浄土宗開教振興協会 役員名簿

平成30年12月31日現在

役職	氏名	教区・役職	所属寺院
会長	豊岡 瞭尔	宗務総長	
副会長	杉山 俊明	社会国際局長	
	川中 光教	教学局長	
	大橋 章孝	奈良	阿日寺
理事長	樋口 英信	福岡	長徳寺
副理事長	田中 康道	尾張	雲谷寺
常務理事	神田 眞晃	大阪	法善寺
	千野 法人	千葉	最勝院
	江口 隆定	千葉	大蓮寺
理事	茂木 恵順	群馬	雲晴院
	吉水 仙昭	奈良	迎乗寺
	野村 定弘	北海道第一	直行寺
	中村 瑞貴	宮城	愚鈍院
	山下 法彦	伊勢	樹敬寺
	井口 信道	新潟	浄念寺
	浦上 博隆	兵庫	常楽寺
	財津 元生	愛媛	真光寺
	大江田 紘義	宮城	西方寺
	笠原 泰淳	東京	林海庵
監事	大谷 秀穂	東京	法然寺
	山川 正道	滋賀	正福寺

平成 29 年度 浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

平成 29 年 4 月 1 日～同 30 年 3 月 31 日

基本資金部【歳入の部】

(単位：円)

款 項	目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	200,000	0	△ 200,000			
	1. 特別会費収入	200,000	0	△ 200,000			
	1. 名誉会員会費収入	0	0	0	1. 名誉会員会費	0	100万円×0人
	2. 賛助会員会費収入	200,000	0	△ 200,000	1. 賛助会員会費	0	20万円×0人
2.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0			
	1. 積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0			
	1. 積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0	1. 積立金受入金	143,810,000	
3.	返済金収入	0	0	0			
	1. 貸付金返済収入	0	0	0			
	1. 貸付金返済収入	0	0	0	1. 国内開教指定寺院 貸付金返済金	0	
4.	繰入金	10,000,000	10,000,000	0			
	1. 運用資金部繰入金	10,000,000	10,000,000	0			
	1. 運用資金部繰入金	10,000,000	10,000,000	0	1. 運用資金部繰入金	10,000,000	運用資金部からの繰入金
歳 入 合 計		154,010,000	153,810,000	△ 200,000			

基本資金部【歳出の部】

(単位：円)

款 項	目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	積立金積立	154,010,000	153,810,000	△ 200,000			
	1. 積立金積立	154,010,000	153,810,000	△ 200,000			
	1. 積立金積立	154,010,000	153,810,000	△ 200,000	1. 積立金積立	153,810,000	
2.	貸付金支出	0	0	0			
	1. 貸付金支出	0	0	0			
	1. 貸付金支出	0	0	0	1. 奨学貸付金	0	
					2. 開教区貸付金	0	
					3. 国内開教貸付金	0	
					4. 運用資金部貸付金	0	
歳 出 合 計		154,010,000	153,810,000	△ 200,000			

運用資金部【歳入の部】

(単位：円)

款 項	目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	11,500,000	11,180,000	△ 320,000			
	1. 正会員会費収入	11,500,000	11,180,000	△ 320,000			
	1. 正会員会費収入	11,500,000	11,180,000	△ 320,000	1. 正会員会費	11,180,000	会員数 1,118 名
2.	寄付金収入	300,000	330,000	30,000			
	1. 特別寄付金収入	300,000	330,000	30,000			
	1. 特別寄付金収入	300,000	330,000	30,000	1. 一般寄付収入	130,000	一般寄付金の受入
					2. 指定寄付収入	200,000	指定寄付金の受入
3.	財産運用収入	11,200	12,665	1,465			
	1. 資金運用収入	11,200	12,665	1,465			
	1. 預貯金利息収入	11,200	12,665	1,465	1. 基本資金利子	12,648	
					2. 運用資金利子	17	
4.	雑収入	0	10,000	10,000			
	1. 雑収入	0	10,000	10,000			
	1. 諸収入	0	10,000	10,000	1. 諸収入	10,000	
5.	繰越金	20,000,000	25,003,909	5,003,909			
	1. 繰越金	20,000,000	25,003,909	5,003,909			
	1. 繰越金	20,000,000	25,003,909	5,003,909	1. 繰越金	25,003,909	平成28年度会計繰越し
歳 入 合 計		31,811,200	36,536,574	4,725,374			

運用資金部 [歳出の部]

(単位：円)

款 項	目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会議費	2,370,000	1,309,080	△ 1,060,920			
	1. 理事会	1,600,000	1,010,460	△ 589,540			
	1. 理事会	1,300,000	1,010,460	△ 289,540	1. 理事会	1,010,460	2 回開催(旅費)
	2. 常務理事会	300,000	0	△ 300,000	1. 常務理事会	0	
	2. 監査会	50,000	48,920	△ 1,080			
	1. 監査会	50,000	48,920	△ 1,080	1. 監査会	48,920	1 回開催(旅費)
	3. 企画委員会	720,000	249,700	△ 470,300			
	1. 企画委員会	520,000	249,700	△ 270,300	1. 企画委員会	249,700	3 回開催(旅費)
2.	事業費	8,500,000	5,686,194	△ 2,813,806			
	1. 出版費	3,300,000	2,232,340	△ 1,067,660			編集経費/印刷製本費他
	1. 会報発行費	1,100,000	758,160	△ 341,840	1. 開教発行費	758,160	『開教』発刊 年1回
	2. 教化資料等出版費	2,200,000	1,474,180	△ 725,820	1. 英字冊子発行費	437,880	『Pure Land Life』発行 年1回
					2. 教化資料出版費	1,036,300	教化資料出版/ ポスター月訓カレンダー発行(含送料)
					3. 広報資料費	0	
	2. 推進協力費	5,200,000	3,453,854	△ 1,746,146			
	1. 事業支援費	5,200,000	3,453,854	△ 1,746,146	1. ハワイ開教区	0	
					2. 北米開教区	0	
					3. 南米開教区	210,496	南米開教区 65 周年記念事業 (五重相伝)
					4. 海外開教地事業費	766,829	憲法事業打合せ訪日旅費、 豪語事業
					5. 国内開教指定地域	264,457	教化資料支援費
					6. 企画・調査費	1,721,910	ハワイ・豪 視察諸費用
					7. 広報事業費	490,162	カンファレンス運営費
					8. その他事業費	0	
3.	特別指定寄付金	200,000	200,000	0			
	1. 特別指定寄付金	200,000	200,000	0			
	1. 特別指定寄付金	200,000	200,000	0	1. 特別指定寄付金	200,000	指定寄付金の支出(フランス1件分)
4.	補助費	300,000	0	△ 300,000			
	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000			
	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000	1. 補助費	0	
5.	渉外費	100,000	0	△ 100,000			
	1. 渉外費	100,000	0	△ 100,000			
	1. 渉外費	100,000	0	△ 100,000	1. 渉外費	0	
6.	事務費	2,051,000	1,596,844	△ 454,156			
	1. 事務費	800,000	404,061	△ 395,939			
	1. 事務費	800,000	404,061	△ 395,939	1. 事務費	404,061	郵便発送費/振込手数料/その他
	2. 会員募集事務費	1,251,000	1,192,783	△ 58,217			
	1. 教区還付費	1,151,000	1,118,000	△ 33,000	1. 教区還付費	1,118,000	教区事務費交付(29年度分)
	2. 募集活動費	100,000	74,783	△ 25,217	1. 募集活動費	74,783	会費請求発送作業
7.	繰出金	10,000,000	10,000,000	0			
	1. 基本資金部繰出金	10,000,000	10,000,000	0			
	1. 基本資金部繰出金	10,000,000	10,000,000	0	1. 基本資金部繰出金	10,000,000	基本資金部への繰出金
7.	予備費	8,290,200	0	△ 8,290,200			
	1. 予備費	8,290,200	0	△ 8,290,200			
	1. 予備費	8,290,200	0	△ 8,290,200	1. 予備費	0	
	歳 出 合 計	31,811,200	18,792,118	△ 13,019,082			

本年度運用資金部の歳入総額は ￥36,536,574 である

本年度運用資金部の歳出総額は ￥18,792,118 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ￥17,744,456

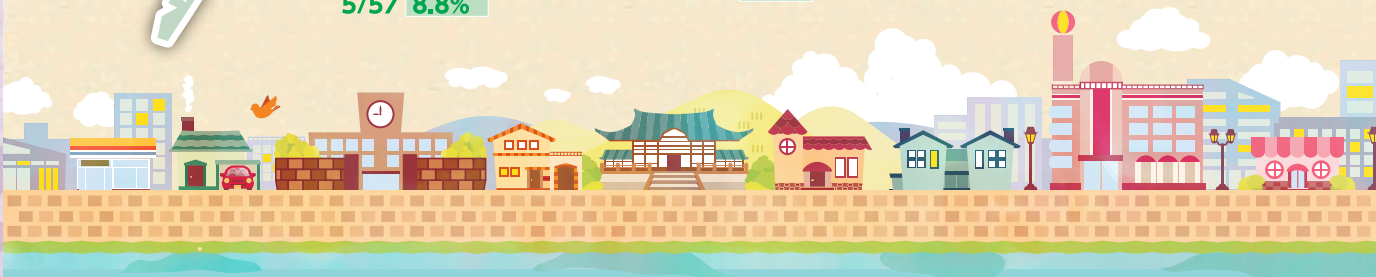
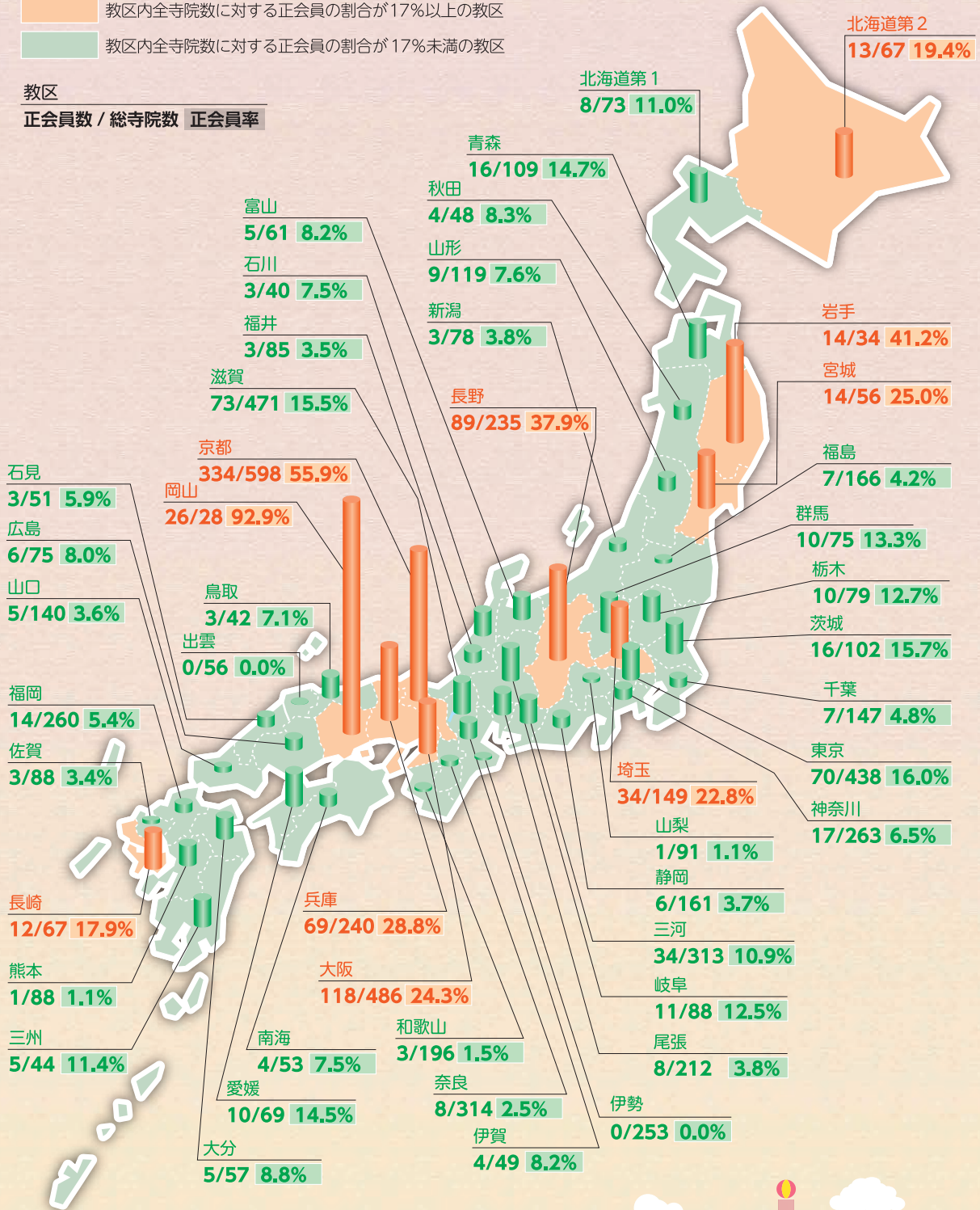
平成29年度 振興協会教区別会員数

会員数1,200(全寺院数の約17%)を
目標としております。ご協力お願いいたします。

- 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%以上の教区
- 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%未満の教区

教区

正会員数 / 総寺院数 正会員率



海外・国内 開教使募集!!

世界が舞台です!

ハワイ、北米、南米の海外3開教区、
オーストラリア(ブリスベン)、フランス
(パリ)の両開教地が浄土宗の海外開教
の拠点です。

開教最前線で活動する事により、僧侶としてはもちろん、自分自身の能力向上ともなるはずです。

語学力ももちろん必要ですが、大事なのはあなたの「やる気」です。興味のある方は左記までぜひお気軽にお問い合わせください。

寺院を建立してみませんか?

あなた自身、国内開教使として開山上人
になってみませんか? 寺院の建立は、
社会情勢の変化や人口流動などが進む
平成のこの時代であるからこそ、必要
なのです。全国に新寺が続々と建立され
ています。機は熟しました。今こそ
あなたのその力が必要なのです。

お問い合わせ先

浄土宗 社会部 開教担当

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4

Tel.03-3436-3351(代)

Eメール kaikyo-info@jodo.or.jp



編集後記



浄土宗開教振興協会会報「開教」をご拝読いただき誠にありがとうございます。

当協会会員の皆様、関係寺院の皆様におかれましては、平素より本宗開教事業ならびに当協会諸事業に格別なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様ご高承のとおり、当協会では、本宗の海外・国内における開教活動の現状のご報告とさらなる活動へのご理解、ご支援を得るべく、毎年、この会報誌「開教」を発刊いたしており、第36号となる本号では、海外・国内での開教活動の現状報告の他、記念事業や地域社会との交流事業の紹介のほか、浄土宗開教振興協会の事業紹介などを掲載させていただきました。

特に昨年7月、永年ハワイ開教区にて開教活動に従事され、また同開教区開教総監として開教使はもちろんメンバーを牽引し、同開教区の発展にご尽力いただいていた、樫柴裕文師が急逝されましたことは、誠に残念でなりません。

樫柴師は2017年9月に浄土門主より同開教区開教総監を拝命され、これから更なるご活躍を願っていた矢先でございました。謹んで樫柴師の面影を偲び数々のご功績を讃え哀悼の意を表します。

樫柴師亡き後、江崎晃司開教使が同開教区の総監代行職にご就任され、力を注いでいただいております。ハワイ開教区の皆様におかれましては、江崎開教使のもと、樫柴師のご意思を引き継ぎ、一致団結して開教区の発展にご尽力賜りますことを切にお願い申し上げます。

末筆となりましたが、今回ご寄稿を賜りました諸師・編集にご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。今後也更なる紙面の充実を目指して参ります所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。また、諸般の事情により通常より遅れての発刊およびお届けとなりましたことを謹んでお詫び申し上げます。

合掌

開教 第36号 平成31年3月31日発行

編集/発行 浄土宗開教振興協会
東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内
Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744

制作 表紙・デザイン:株式会社 北陸スタッフ
印刷:株式会社 共立社印刷所



浄土宗開教振興協会 ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。

海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を開始しております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に、確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳に「正会員」としてのご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

本協会は 次の事業を行っております

- ① 開教思想の普及徹底
- ② 開教事業の調査研究
- ③ 国内開教指定地域への助成
- ④ 海外開教区・開教地への助成
- ⑤ 開教使の養成

会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださるようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座

郵便振替 00160-5-175767
浄土宗開教振興協会

会員の種類

- ① 名誉会員 本協会の基本資金として100万円以上の寄付をされた方・本協会に特に功労があり理事会で推薦された方
- ② 賛助会員 本協会の基本資金として20万円以上の寄付をされた方
- ③ 正会員 本協会の運用資金として年額1万円の会費を納入された方

功績点の付与

寄付金および会費については、次のように僧階の功績点が付与されます。

- ① 一般勸募寄付金
・20万円に対して1点
- ② 個人寄付金
・5万円に対して1点

【問合せ】

浄土宗開教振興協会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 (浄土宗社会部内)
TEL.03-3436-3351 FAX.03-3434-0744